

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市栗生児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》	
	・令和3年度 22,483人（前年度比 120.6%） ・令和2年度 18,650人 ・令和元年度 27,395人	
5 収支の状況	《事業》	
	・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	( )は前年度決算額
6 利用者の声	《費用》	
	・ 指定管理者に支払った費用 49,529千円 (44,337千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
7 収入の状況	《収入》	
	・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
8 実施状況	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した丁寧な育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>制約のある中で本来の児童館運営に出来る限り近づけようと模索した1年でした。予定した行事に関しては自粛期間以外、人数を制限しながら全て円滑にこなせ、児童館機能を果たすことができました。</p> <p>乳幼児親子が他の親子と接し、コロナ禍の閉塞感から徐々に交流が深まっていく姿は、子どもだけではなく保護者様にとっても大きな支えとなっていることを実感できました。</p> <p>愛子児童館、広瀬マイスクール児童館、落合市民センターと連携した「ちびっこ運動会」は、広い体育館で思う存分運動し充実感とともに、子ども同士の関りも深まりました。また、小学生対象の親子遊びでは、他の家族の方々と集団で交流できたことは有意義でした。</p> <p>大倉・作並・上愛子小の3校合併後に実施した移動児童館は、児童館のない地域の子も達が児童館の活動を体験できる絶好の場となりました。1～6年の上愛子小学校の児童に、児童館の取り組みを楽しんでもらう機会となり、同時に連携行事を絶やすことなく3館で今後も引き継いでいかなければと確信しました。</p> <p>講師をお招きしての子育て家庭支援事業はスマホでの撮影方法やリフレッシュを意図したフラダンスなど前年度利用者様の要望を取り入れながら、より一層充実した企画に発展させることができました。地域の中の児童館を目指し、可能な限り地域在住の方々に講師をお願いした他、くりさんクラブの協力で実施したグランドゴルフ、お正月遊び等、地域の皆さんと関われる活動を意識し、児童館をより身近に感じてもらえるように努めてまいりました。一方、中高生の自由来館が激減し、気軽に利用できる周知方法を工夫し開かれた児童館を目指していかなければならないとも痛感しております。最大限可能な行事を模索しながら、引き続き事故防止、感染対策に配慮し安心安全な児童館運営に尽力してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域の方を講師に招いて「マジックショー」が行われ、子ども達の興味関心が広がり自主的に「マジッククラブ」を立ち上げ活動している。また、児童館まつりに代わる行事として「あいあいじょうかん お正月あそび」が地域の老人クラブの方々の協力で行われ、羽子板や福笑いなど昔遊びの体験の場を提供した。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、講師や保育士を招いて行われる「すくすくひろば」はフラダンス、ママはカメラマンなど母親のリフレッシュや親子の触れ合い遊びなど地域の方々に支えられ、多彩なプログラムを提供しており、地域で子育て家庭を支援する環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域の関係機関と連携し「ちびっこ運動会」「親子であそび」などを開催し、地域、親子、世代間の交流を積極的に展開した。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、地域の高齢者に手紙やおひなさま、折り鶴などの制作物を送るなど館外へ向けた活動を行った。また毎月の遊びに工夫を凝らし、遊戯室ではアスレチックやなわとびなど発達段階にふさわしい遊びを提供した。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課